

補強土壁工法技術ノート(No4.)

【補強材の種類と特性】

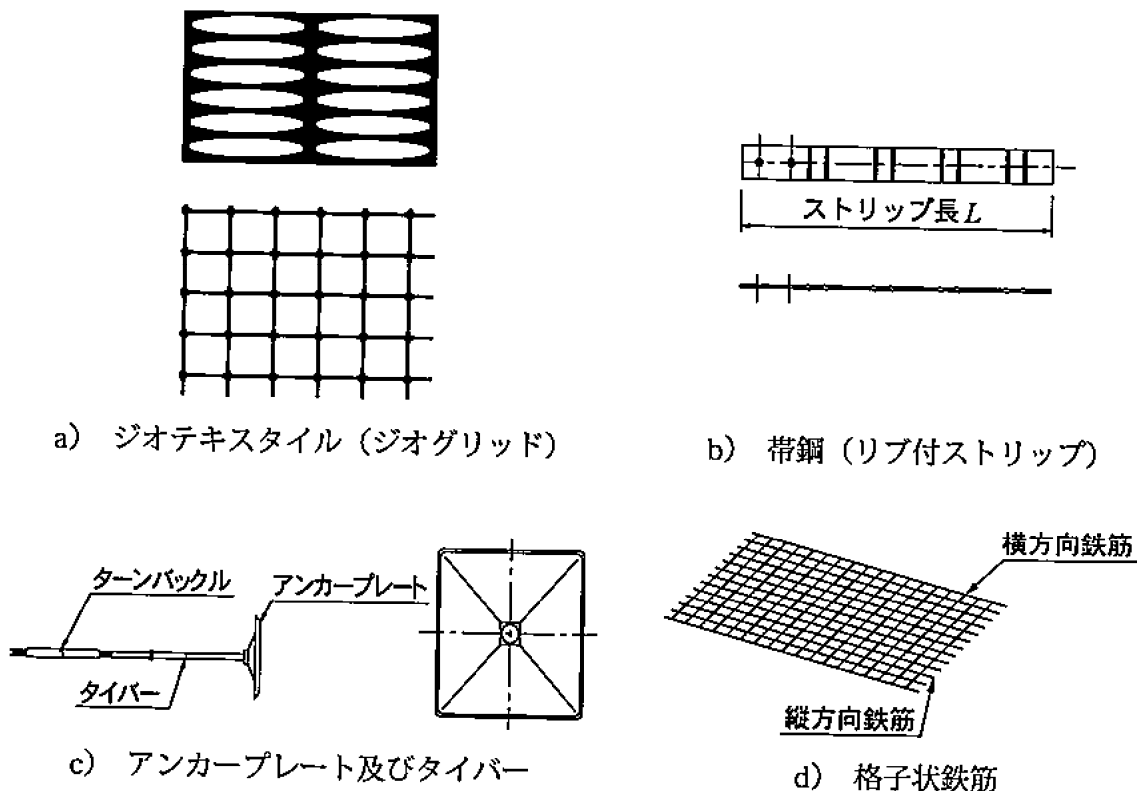
補強土壁工法の主要部材には補強材と壁面材と盛土材がある。
このなかでも土中に敷設する補強材は最も重要な部材である。表—1に現在使用している代表的な補強材と特性を示す。

表—1 代表的補強材の特性

補強材	材 質	形 状	補強方式	定着方式
帯鋼(ストリップ)	亜鉛メッキ鋼材	帯状	摩擦抵抗	線状定着(連続した長さで定着)
アンカープレート及びタイバー		棒鋼, 支圧版	支圧抵抗	先端定着(点で定着)
格子状鉄筋		面状	(支圧+摩擦)抵抗	線状定着
ジオテキスタイル	合成高分子材	面状	摩擦抵抗	線状定着

上記の他に鋼製チェーン補強材もあるが施工実績は少ない。

(1) 形状



図—1 補強材の形状

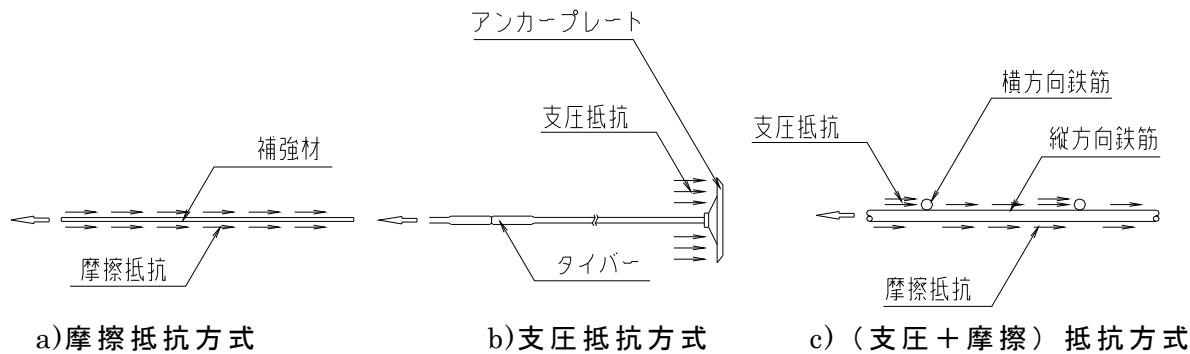


図-2 補強材の補強方式

(2) 定着方式

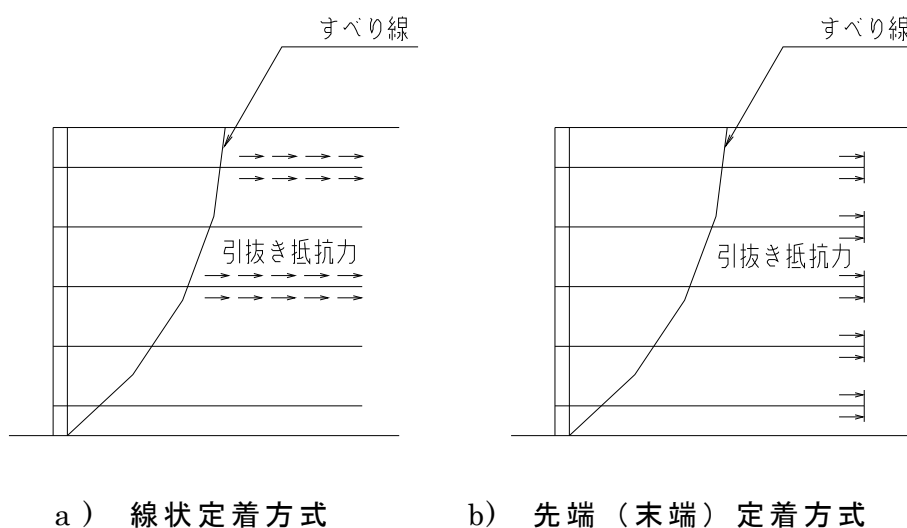


図-3 補強材の定着方式

● 線状定着方式

: ある連続した長さで定着する。すべり線より後方の補強材有効長さに比例して引抜き抵抗力は大きくなる。

● 先端定着方式

: 補強材の先端で定着する。すべり線より後方の補強材有効長さが長くなっても引抜き抵抗力は大きくなりません。抵抗力は支圧板の面積に比例する。

お問合せは下記まで

REECOM 株式会社 補強土エンジニアリング
 〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目6番6号(カーニープレイス西本町6F)
 TEL(06)6536-6711 FAX(06)6536-6713
 インターネットホームページ: <https://www.reecom.co.jp>
 Eメール: info@reecom.co.jp